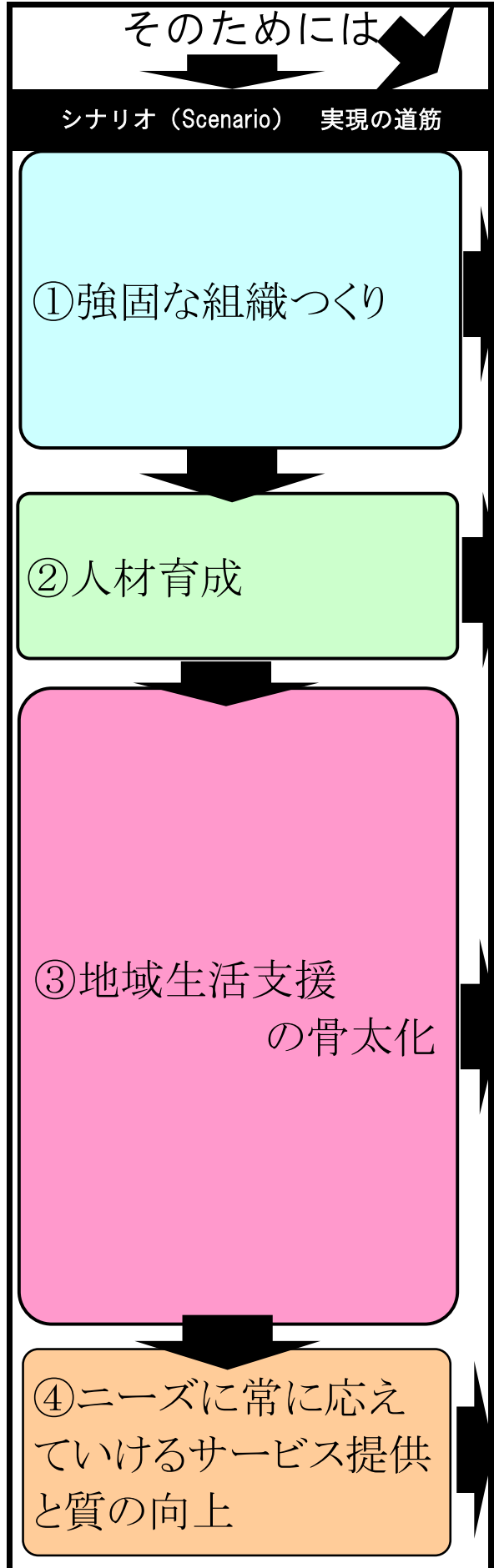


ビジョン (Vision)

障がい者とそのご家族がここで生まれ育ってよかったと思える
満足一番地域を創りだせる法人になる



- 成功させるために重要な事、創り出すもの (機能、建物等)
- 各部門会議の有効機能
 - 本部機能とガバナンスの強化
 - 安定的な経営基盤

- 成功への道りが正しいかを表す数値
- 運営会議月1回、支援部会議月1回、総務部会議月1回、部長会議月1回、経営推進会議の月5回の会議を基本。
 - 反比例して各プロジェクト、各部門からの提案は増、提案に対してのフィードバック増
 - 収支バランスの改善(支出減、収入増)

- 31年～33年度事業指針
- 各部、事業所で行う概要 31年度～33年度
- 支援部会議は支援に関する各プロジェクト等からの提案を拾いあげ運営会議へ提案する。
 - 総務部会議では人材育成、財務経理に関する提案を拾いあげ運営会議へ提案する。
 - 運営会議は各部門、プロジェクト等の提案に対し実施の可否等のフィードバックを行う。
 - 経営推進会議は収支バランスの推移と推移の原因を把握し改善策を協議し、各事業所等にフィードバックする。
 - 上記の流れを構築運用し各会議においてはボトムアップとトップダウンを有機的に機能させる。
 - 計画的な職員雇用、計画的な設備投資を各年、各案件において検討実施(財務経理。人材育成)する。
 - 人事加算配置等の積極的な提言(財務経理)を行う

- 成功させるために重要な事、創り出すもの (機能、建物等)
- キャリアパスと連動した研修体制の整備
 - キャリアパスの運用(職員を大切にすることと安心して働くことができる環境含む)
 - 人材の獲得と確保

- 成功への道りが正しいかを表す数値
- 法人研修参加人数増
 - 職員モチベーション増(研修参加人数で測れるか)
 - 採用試験申し込み数増
 - 有資格者の採用増
 - 資格保持者増
 - 離職者減

- 各部、事業所で行う概要 31年度～33年度
- キャリアパスに即した研修体系の整備と実施(人材育成課)する。
 - キャリアパス実施に伴う人事管理(人材育成課)のシステム作りを行う
 - キャリアパス実施に伴い評価者訓練、教育の実施を行う
 - 資格取得一部補償(通信教育入学費用の～%等)を検討実施

- 成功させるために重要な事、創り出すもの (機能、建物等)
- 日中支援型GHの開所
 - 常岩の里ながみね改修
 - 岳南岳北居住支援センター設置
 - 医療体制の整備
 - 介護保険事業参入の可能性検討

- 成功への道りが正しいかを表す数値
- GH支援員の減。
 - 反比例して夜勤体制GH増と職員一人当たりの夜勤数増
 - 短期入所事業(空床)の増→(ながみねひだまりと日中支援型GHに10床)
 - 既存GHの減
 - ながみね居住者のQOL増
 - 常勤看護師の増
 - 居宅支援スタッフ(資格保持者)増
 - 在宅サービスの提供回数増
 - 祝日夜間等の緊急訪問件数減
 - ヘルパーの稼働率増

- 各部、事業所で行う概要 31年度～33年度
- 現在の夜勤業務と夜勤時間の見直し→ショート夜勤、夜日勤を新設する。
 - 夜勤手当の見直し検討実施する。
 - 上記新夜勤業務を設定したうえで日中活動事業所職員への協力依頼とシステム創りを行う。(居住部主軸で支援部)→日勤常時と夜勤混合職員のカテゴリ分けと勤務の在り方検討実施する。
 - ながみね「ひだまり」の在り方とSS空床確保を検討実施する。(ながみね主で支援部)、また居住者のQOL向上のため、ながみね改修計画を検討、費用に応じて実施。
 - 岳南岳北居住支援センターの構築→はるかぜ機能の高社への移転(日中支援型GH)とながみね北のはるかぜ化を実施する。(支援部)
 - 法人看護師等による医療体制部門の設立と24hの医療体制整備を行う(医療体制Pと支援部)。
 - 医療体制整備と並行して高齢重度対応の居住について検討する(岳北センター)介護保険事業参入の可能性を検討
 - はるかぜ機能の見直し(GH化、または単独短期入所のみ)検討する。
 - 既存GH入居者の移動工程表作成し実施する。
 - 有資格者が働きたい職場→キャリアパス構築(エキスパートリーダー)と運用を行う。
 - 資格取得費用の一部補償(通信教育入学費用の～%等)を検討実施する。

- 成功させるために重要な事、創り出すもの (機能、建物等)
- 日中事業センター

- 成功への道りが正しいかを表す数値
- 日中事業稼働率の増。
 - 反比例して人件費(支援員)の減
 - 従たる事業所を含む事業所(建物)の減
 - 反比例して提供サービス種の増

- 各部、事業所で行う概要 31年度～33年度
- ねくすと専門性を各事業所へ拡散させる(職員、利用者共に拡散異動)。
 - 現ねくすと物件にまーぶる(更なる発展を考慮商業圏へ)
 - たけはら(重度高齢日中ニーズに備え利便性を高める)を移転する。
 - のぞみの郷高社本体の生活介護のうまし苑への移転計画と新サービスを検討、開所する。
 - 日中事業における効率化とサービス種と質の向上を目指す(スケールメリット)
 - 既存日中事業所全体の在り方を検討し日中事業センター構想を検討～実施(上記の取り組みから情報や配置職員を一元管理等)する。

- 成功させるために重要な事、創り出すもの (機能、建物等)
- 相談支援体制の充実
 - 自立支援協議会の有効活用
 - 各事業所のサービス種、質の向上

- 成功への道りが正しいかを表す数値
- 相談支援専門員の増
 - サービス提供時モニタリング加算の増
 - モニタリング件数の増
 - 自立支援協議会への提案増
 - 地域の課題に対する達成数の増
 - 各事業所の苦情、ヒヤリハットの減
 - 虐待通報の減
 - 計画相談予防プラン作成率の増

- 各部、事業所で行う概要 31年度～33年度
- 相談員の孤立を防ぐため相談事業所を集約して2拠点化する。
 - 業務の効率化等で負担感を減らし、相談員の成りてを増やしていく。
 - 業務負担の軽減により、本来業務である当事者の意思をお聞きする機会を増やしていく(面談、モニタリング会議、自立生活援助)。
 - 自立支援協議会を意識した課題発見と解決の仕組みを検討する。
 - キャリアパスに準じた研修に各職員が参加し、各職級における役割と能力身に着ける。